

京都府の教育の基本理念を実現するため、「3つの『はぐくみたい力』をどのようにして身に付けさせていくか」、また、「そのための学びの環境を学校や家庭・地域社会でどう整えていくのか」という観点から、以下のとおり2つの柱と10の重点目標を定めました。また、それぞれの重点目標の達成に向けて、主要な施策の方向性として、今後取り組むべき40の項目を掲げました。

京都府では、これらのことを力強く推し進めていくことにより、京都の未来を創造する人づくりを進めます。

1 京都の未来を創造する人づくりに向けた教育の推進

重点目標 1

質の高い学力をはぐくむ

- (1) 基礎・基本の定着
- (2) 活用する力の育成
- (3) 学習意欲の向上

重点目標 2

人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性をはぐくむ

- (4) 人を思いやり、尊重する心の育成
- (5) 豊かな感性、情緒の育成
- (6) 読書活動を通じた創造力、表現力の育成
- (7) 京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心と技の育成

重点目標 3

たくましく健やかな身体をはぐくむ

- (8) 体力の向上
- (9) 健やかな身体の育成
- (10) 食育の推進

重点目標 4

一人一人を大切にし、個性や能力を最大限に伸ばす

- (11) 魅力ある学校づくりの推進
- (12) 人権教育の推進
- (13) 特別支援教育の推進
- (14) 幼児教育の推進
- (15) キャリア教育の推進
- (16) スポーツの推進

重点目標 5

社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力をはぐくむ

- (17) 規範意識やコミュニケーション能力などを高める教育の推進
- (18) 公共の精神や社会参画の意識をはぐくむ教育の推進
- (19) 現代的課題に対する関心を高め、理解を深める教育の推進
- (20) グローバル化に対応できる人材の育成

なお、重点目標については、1つの重点目標につき3～8ページで記述しており、現状と課題を明らかにした上で、取組の基本的方針を掲げ、主な目標指標と主要な施策の方向性を示しています。

《目標指標とは》

重点目標の達成に向けた京都府教育委員会の取組の効果を測定するための「指標」です。京都府の教育の基本理念の実現のためには、取組の実績だけではなく、その効果も含めて検証することによって、取組の見直し・改善を図っていく必要があります。

したがって、その目標値の達成だけを目的とするものではなく、目標指標自体も今回の改定に合わせて見直しました。

2 京都の力を活かして一人一人の学びを支える教育環境づくり

重点目標 6

安心・安全で充実した教育の環境を整備する

- (21) 学校危機管理・安全対策の充実
- (22) いじめや暴力行為の防止対策の充実
- (23) 不登校の子どもへのきめ細かな支援の充実
- (24) 経済的に困難な環境にある子どもへの支援の充実
- (25) 学校施設整備の充実

重点目標 7

学校の教育力の向上を図る

- (26) 質の高い教育環境の充実
- (27) きめ細かな指導体制の充実
- (28) 教職員が子どもに向き合える環境づくり
- (29) 教職員の資質・能力の向上
- (30) 校種間連携の充実
- (31) 家庭や地域社会とつながり、信頼される学校づくり

重点目標 8

すべての教育の出発点である家庭教育を支援する

- (32) 学習機会の充実
- (33) サポート体制の充実
- (34) ネットワークづくり

重点目標 9

地域社会の力を活かして子どもをはぐくむ環境をつくる

- (35) 子どもの活動の場の充実
- (36) 学校を支援する活動の充実
- (37) 子どもの健全育成のための環境づくり

重点目標 10

生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる

- (38) 生涯学習環境の充実
- (39) 生涯スポーツ環境の充実
- (40) 生涯学習施設などを活用した学習活動の充実